

血液浄化療法部

論文

A 欧文

A-a

1. Ohba K, Miyata Y, Yasuda T, Asai A, Mitsunari K, Matsuo T, Mochizuki Y, Matsunaga N, Sakai H: Efficacy and safety of sunitinib alternate day regimen in patients with metastatic renal cell carcinoma in Japan: Comparison with standard 4/2 schedule. *Asia Pac J Clin Oncol* 14(3): 153-158, 2018 (IF: 1.494) *
2. Nakanishi H, Miyata Y, Mochizuki Y, Yasuda T, Nakamura Y, Araki K, Sagara Y, Matsuo T, Ohba K, Sakai H: Pathological significance and prognostic roles of densities of CD57+ cells, CD68+ cells, and mast cells, and their ratios in clear cell renal cell carcinoma. *Hum Pathol* 79: 102-108, 2018 (IF: 3.125) *
3. Horinouchi T, Nozu K, Yamamura T, Minamikawa S, Omori T, Nakanishi K, Fujimura J, Ashida A, Kitamura M, Kawano M, Shimabukuro W, Kitabayashi C, Imafuku A, Tamagaki K, Kamei K, Okamoto K, Fujinaga S, Oka M, Igarashi T, Miyazono A, Sawanobori E, Fujimaru R, Nakanishi K, Shima Y, Matsuo M, Ye MJ, Nozu Y, Morisada N, Kaito H, Iijima K: Detection of Splicing Abnormalities and Genotype-Phenotype Correlation in X-linked Alport Syndrome. *J Am Soc Nephrol* 29(8): 2244-2254, 2018 (IF: 8.655) *
4. Ichinose K, Kitamura M, Sato S, Fujikawa K, Horai Y, Matsuoka N, Tsuboi M, Nonaka F, Shimizu T, Fukui S, Umeda M, Koga T, Kawashiri SY, Iwamoto N, Igawa T, Tamai M, Nakamura H, Origuchi T, Nishino T, Kawakami A: Podocyte foot process width is a prediction marker for complete renal response at 6 and 12 months after induction therapy in lupus nephritis. *Clin Immunol* 197: 161-168, 2018 (IF: 3.557) *
5. Araki K, Miyata Y, Ohba K, Nakamura Y, Matsuo T, Mochizuki Y, Sakai H: Oral Intake of Royal Jelly Has Protective Effects Against Tyrosine Kinase Inhibitor-Induced Toxicity in Patients with Renal Cell Carcinoma: A Randomized, Double-Blinded, Placebo-Controlled Trial. *Medicines (Basel)* 6(1): E2, 2018 *
6. Mineaki Kitamura, Satoko Kitamura, Machiko Fujioka, Rena Kamiyo, Shinya Sato, Yasushi Sawayama, Tadashi Uramatsu, Yoko Obata, Yasushi Mochizuki, Masaharu Nishikido, Hideki Sakai, Yasushi Miyazaki, Hiroshi Mukae and Tomoya Nishino: Methotrexate-induced acute kidney injury in patients with hematological malignancies: three case reports with literature review. *Renal Replacement Therapy* 4:39, 2018

B 邦文

B-b

1. 西村志帆, 森 琴美, 植野りさ子, 前田兼徳, 望月保志: 【ポイントが一目でパッとわかる 透析患者の検査・食事・薬のキーワード 79】 検査のキーワード 食事管理状況・栄養状態をみる検査値. *透析ケア* 24(6):494-498, 2018
2. 望月保志, 中西裕美, 宮田康好, 酒井英樹: 超高齢時代の腎移植療法、オーバービュー 高齢腎不全医療を再考する. *西日本泌尿器科* 80(8): 391-396, 2018

B-e

1. 一瀬邦弘, 北村峰昭, 藤川敬太, 寶來吉朗, 松岡直樹, 坪井雅彦, 野中文陽, 植木幸孝, 梅田雅孝, 福井翔一, 西野文子, 古賀智裕, 川尻真也, 岩本直樹, 玉井慎美, 中村英樹, 折口智樹, 西野友哉, 川上 純: SLE・抗リン脂質抗体症候群 4 ループス腎炎における寛解導入後の治療反応予測因子と生命予後の検討. *日本リウマチ学会総会・学術集会プログラム・抄録集* 62: 470, 2018
2. 荒木杏平, 大庭康司郎, 原田淳樹, 中西裕美, 相良祐次, 松尾朋博, 望月保志, 宮田康好, 酒井英樹: 初期治療として腎摘除を施行しなかった腎細胞癌症例の臨床的検討. *日本泌尿器科学会総会* 106: 472, 2018
3. 中西裕美, 望月保志, 近藤 翼, 鹿子木 桂, 原田淳樹, 荒木杏平, 志田洋平, 松尾朋博, 相良祐二, 宮田康好, 錦戸雅春, 酒井英樹: 当院で経験した下大静脈塞栓を伴う腎細胞癌症例の比較検討. *日本泌尿器科学会総会* 106: 482, 2018
4. 太田祐樹, 北村峰昭, 牟田久美子, 山下 裕, 原田孝司, 船越 哲, 西野友哉: 透析患者と突然死との関連因子についての検討. *日本腎臓学会誌* 60(3): 393, 2018
5. 北村峰昭, 太田祐樹, 牟田久美子, 山下 裕, 小畑陽子, 西野友哉: 上皮下高電子密度沈着物を伴う IgA 腎症の臨床病理学的特徴. *日本腎臓学会誌* 60(3): 406, 2018
6. 廣瀬弥幸, 井上 大, 山口貢正, 坂本良輔, 高木博人, 石橋可奈子, 足立美沙, 辻 清和, 鳥越健太, 鳥越未来, 牟田久美子, 太田祐樹, 北村峰昭, 川崎智子, 山下 裕, 中沢将之, 小畑陽子, 西野友哉: 長崎県内の3医療機関におけるネフローゼ症候群の診療録記載の変化と課題. *日本腎臓学会誌* 60(3): 415, 2018
7. 一瀬邦弘, 北村峰昭, 原田孝司, 西野友哉, 川上 純: ループス腎炎における寛解導入後の治療反応予測因子の検討. *日本腎臓学会誌* 60(3): 439, 2018

8. 井上 大, 小畑陽子, 牟田久美子, 太田祐樹, 北村峰昭, 山下 裕, 廣瀬弥幸, 北村里子, 望月保志, 西野友哉: セフトリアキソン投与後に偽胆石症を来した血液透析患者の一例. 日本透析医学会雑誌 51(Suppl.1): 473, 2018
9. 望月保志, 大庭康司郎, 宮田康好, 酒井英樹: 転移性腎癌に対する薬物療法と腎機能障害 透析導入症例を経験して. 日本透析医学会雑誌 51(Suppl.1): 478, 2018
10. 太田祐樹, 北村峰昭, 牟田久美子, 山下 裕, 小畑陽子, 原田孝司, 船越 哲, 西野友哉: 血液透析患者におけるスタチンの生命予後に与える影響. 日本透析医学会雑誌 51(Suppl.1): 602, 2018
11. 北村峰昭, 太田祐樹, 山下 裕, 小畑陽子, 立石洋平, 望月保志, 原田孝司, 船越 哲, 松尾孝之, 辻野 彰, 酒井英樹, 西野友哉: 血液透析患者における脳出血の発症リスクについての検討. 日本透析医学会雑誌 51 (Suppl.1): 884, 2018
12. 大庭康司郎, 松田 剛, 中西裕美, 安田拓司, 相良祐次, 松尾朋博, 望月保志, 宮田康好, 酒井英樹: irAE Nivolumab による immuno-related adverse events(irAE)の経験. 腎癌研究会会報 48: 26, 2018
13. 大庭康司郎, 大坪亜紗斗, 迎 祐太, 杠葉美樹, 松尾朋博, 望月保志, 宮田康好, 酒井英樹: 転移性腎細胞癌に対する nivolumab の初期経験. 腎癌研究会会報 48: 107, 2018
14. 岩田麻有, 井上 大, 太田祐樹, 牟田久美子, 北村峰昭, 森 篤史, 山下 裕, 小畑陽子, 西野友哉: Cast nephropathy と尿管管内アミロイド沈着を呈した多発性骨髄腫の一例. 日本腎臓学会誌 60(6): 721, 2018
15. 原川さゆみ, 坂本良輔, 桑野克久, 明徳尚基, 太田祐樹, 牟田久美子, 北村峰昭, 山下 裕, 小畑陽子, 西野友哉: 感染関連腎炎と血管炎の鑑別に苦慮した急速進行性糸球体腎炎の一例. 日本腎臓学会誌 60(6): 751, 2018
16. 戸村秀志, 太田祐樹, 牟田久美子, 北村峰昭, 山下 裕, 小畑陽子, 辻 創介, 清水俊匡, 川上 純, 福岡順也, 西野友哉: 腎髄質へのアミロイド沈着の証明により腎機能障害の原因が明らかとなった一例. 日本腎臓学会誌 60(6): 760, 2018
17. 田崎裕太郎, 末吉英純, 坂本一郎, 望月保志, 上谷雅孝: 透析患者におけるヨード造影剤と炭酸ガスを用いたシャント PTA の治療成績の比較. 脈管学 58(Suppl): S155, 2018
18. 望月保志, 宮田康好, 酒井英樹: 腎移植、明日への挑戦 このままでいいのか、日本の献腎移植 献腎移植、明日への挑戦. 西日本泌尿器科 80(増刊): 135, 2018
19. 中村裕一郎, 宮田康好, 望月保志, 中西裕美, 安田拓司, 荒木杏平, 相良祐次, 松尾朋博, 大庭康司郎, 酒井英樹: 腎細胞癌組織における CD57+(ナチュラルキラー細胞)、CD68+(マクロファージ)、およびマスト細胞の濃度の病理学的および予後的な重要性(Pathological and prognostic significance of densities of CD57+ (natural killer cells), CD68+ (macrophage), and mast cells in renal cell carcinoma tissues). 西日本泌尿器科 80(増刊): 156, 2018
20. 大庭康司郎, 伊藤秀徳, 迎 祐太, 中村裕一郎, 中西裕美, 相良祐次, 松尾朋博, 望月保志, 宮田康好, 酒井英樹: 転移性腎細胞癌に対する nivolumab 治療の初期経験. 日本癌治療学会学術集会抄録集 56: P32-4, 2018
21. 中西裕美, 望月保志, 北村峰昭, 宮田康好, 錦戸雅春, 西野友哉, 酒井英樹: 当院における導入時エベロリムス併用免疫抑制療法の治療成績. 移植 53(2-3): 242, 2018
22. 一瀬邦弘, 北村峰昭, 藤川敬太, 寶來吉朗, 松岡直樹, 坪井雅彦, 野中文陽, 植木幸孝, 清水俊匡, 古賀智裕, 川尻真也, 岩本直樹, 玉井慎美, 中村英樹, 折口智樹, 西野友哉, 川上 純: ループス腎炎における寛解導入後の治療反応性と腎予後および生命予後との関連についての検討. 日本臨床免疫学会総会プログラム・抄録集 46: 120, 2018
23. 北村峰昭, 中西裕美, 望月保志, 酒井英樹, 西野友哉: 腎移植診療における腎臓内科の関わり 塩分摂取量について. 移植 53(2-3): 245-246, 2018
24. 望月保志, 中西裕美, 北村峰昭, 川浪幸子, 西野友哉, 酒井英樹: 当院における腎移植外来の現状と課題 長期生着のために何が必要か. 移植 53(2-3): 246-247, 2018
25. 北村峰昭, 北村里子, 小畑陽子, 関野元裕, 三浦 崇, 望月保志, 原 哲也, 江石清行, 酒井英樹, 西野友哉: 心臓血管外科手術術後の血液透析についての検討. 九州人工透析研究会総会抄録集 51: 81, 2018
26. 桑野克久, 山下 裕, 牟田久美子, 太田祐樹, 北村峰昭, 北村里子, 小畑陽子, 望月保志, 酒井英樹, 西野友哉: 当院で血液浄化を行った急性腎障害症例の検討. 九州人工透析研究会総会抄録集 51: 88, 2018

研究業績集計表

教室等名：605 血液浄化療法部

論文数一覧

	A-a	A-b	A-c	A-d	A-e	合計	SCI	B-a	B-b	B-c	B-d	B-e	合計	総計
2018	6	0	0	0	0	6	5	0	2	0	0	26	28	34

学会発表数一覧

	A-a	A-b		合計		B-a	B-b		合計	総計
		シンポジウム	学会				シンポジウム	学会		
2018	0	0	0	0		0	0	31	31	31

論文総数に係る教員生産係数一覧

	$\frac{\text{欧文論文総数}}{\text{論文総数}}$	教員生産係数 (欧文論文)		$\frac{\text{SCI掲載論文数}}{\text{欧文論文総数}}$	教員生産係数 (SCI掲載論文)
2018	0.176	3		0.833	2.5

Impact factor 値一覧

	Impact factor	教員当たり Impact factor	論文当たり Impact factor
2018	16.831	8.416	3.366